

令和4年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報(No.4)

令和4年4月22日

網走西部地区水産技術普及指導所

4月22日に雄武および紋別海域で行った浮遊幼生調査の結果をお知らせします。

**ホタテ幼生が 130~210 μmまで連続して出現
モードは 140~150 μm**

◎浮遊幼生調査結果(表1)

ホタテ幼生の出現状況は下記のとおりです(免疫染色法による)。

【雄武】 水深 20m 130~200 μm 87.0 個/トッ <前回>130~170 μm 35.4 個/トッ
水深 25m 130~200 μm 87.7 個/トッ <前回>130~200 μm 36.8 個/トッ
【紋別】 水深 20m 130~210 μm 116.0 個/トッ <前回>130~230 μm 171.2 個/トッ

雄武では、ホタテ幼生が 130~200 μmまで連続して出現しており、140~150 μmにモードがありました。また、前回よりも出現数が多くなっていました。

紋別では、ホタテ幼生は 130~210 μmまで連続して出現しており、モードは 140 μmでした。

	殻長	雄武(20m)		雄武(25m)		紋別(20m)	
		4月22日	4月22日	4月22日	4月22日	4月22日	4月22日
ホタテガイ	130-	23	16.3	21	14.9	44	31.1
	140-	31	21.9	38	26.9	55	38.9
	150-	38	26.9	33	23.3	36	25.5
	160-	17	12.0	11	7.8	18	12.7
	170-	8	5.7	10	7.1	5	3.5
	180-	2	1.4	7	5.0	2	1.4
	190-	3	2.1	2	1.4	1	0.7
	200-	1	0.7	2	1.4	1	0.7
	210-					2	1.4
	220-						
	計	123	87.0	124	87.7	164	116.0
その他二枚貝		847	599.1	701	495.9	442	312.7

※全て 20m 1 回曳き

◎環境調査結果

【水温・塩分(表2及び2頁参照)】

両海域とも水温は令和3年並、塩分は令和2年並となっています。

【サンプル海水】

植物プランクトンによる濁りは前回よりも薄くなっており、動物プランクトン(小型のクラゲ類)が多く確認されました。

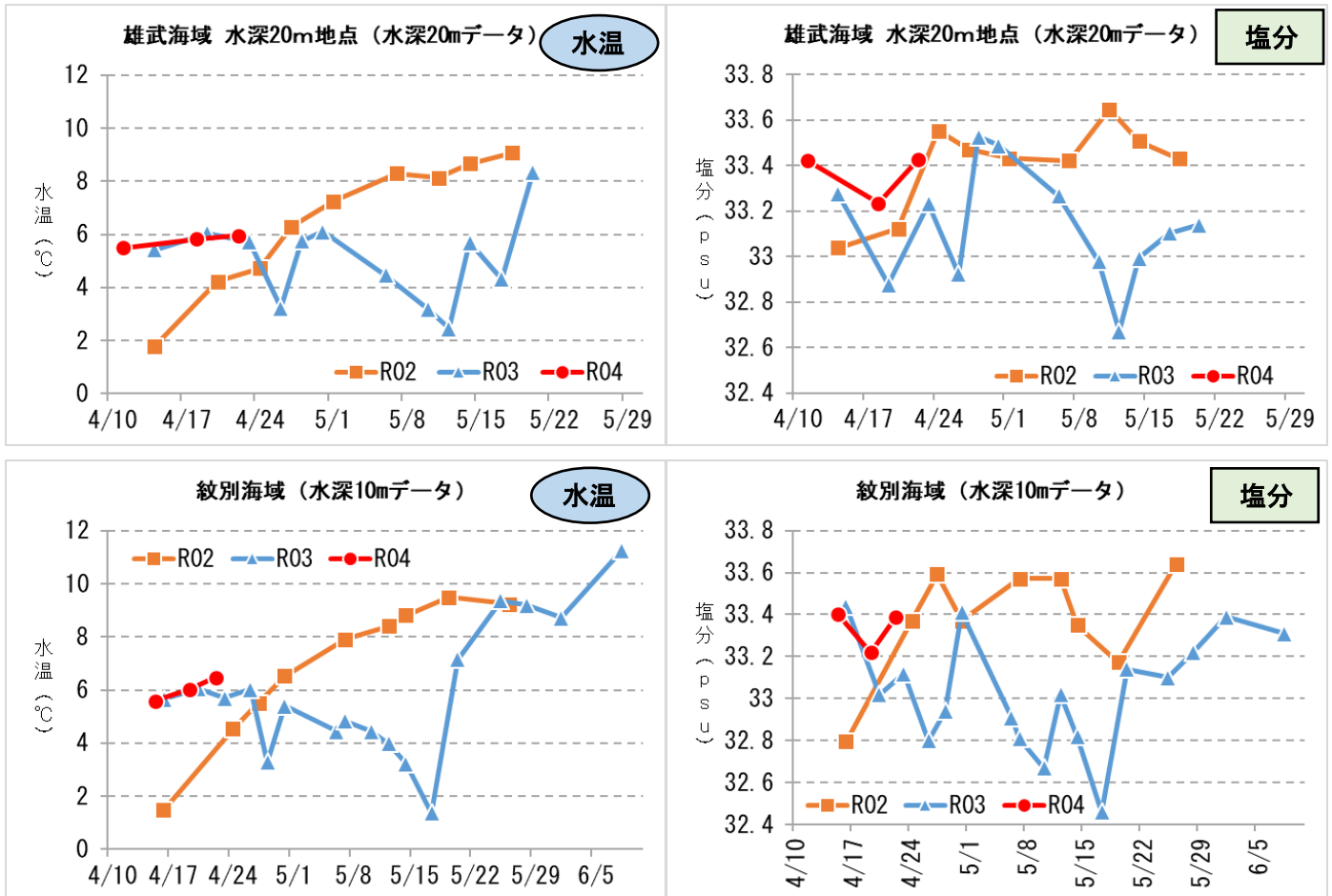
表2 環境調査結果

深度 m	雄武				紋別	
	20m地点		25m地点		20m地点	
	水温℃	塩分psu	水温℃	塩分psu	水温℃	塩分psu
0	---	---	6.5	32.80	6.5	33.39
5	6.4	33.32	6.3	33.29	6.5	33.39
10	6.2	33.36	6.1	33.35	6.5	33.39
15	6.0	33.42	6.0	33.40	6.5	33.39
20	6.0	33.43	5.9	33.42	---	---
底	---	---	5.9	33.44	6.5	33.39

底:24m

底:17m

◎各海域の水温および塩分の推移



◎他地区の情報

・成熟度調査

4/19 増毛 (3年貝) 生殖巣指数 19.0 平成30年に似た動向

・浮遊幼生調査

4/19 臼谷 10.08 個/トシ 150~220 μm (モード 160~170 μm)

増毛 0.63 個/トシ 140 μm

鬼鹿 4.20 個/トシ 140~210 μm (モード 160~170, 200 μm)

4/20 枝幸 6.3 個/トシ 140~200 μm (モード 150 μm)

4/21 小樽 平均 6.9 (0.0~11.6) 個/トシ 140~220 μm (モード 150 μm)

◎今後の調査予定(浮遊幼生調査)

4/25 : 雄武地区

4/26 : 紋別地区